

年度 2008 学期 後期	曜日・校時 月曜日・Ⅲ校時	必修選択 選択	単位数 2
授業科目/(英語名)	数理科学(微積分学)/Mathematical Science(Calculus)		
対象年次 1・2 年次	講義形態 講義	教室	
対象学生(クラス等)	全学部	科目分類 自然科学科目	
担当教員(科目責任者) / E メールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 担当教員:後藤信行 /Eメールアドレス:n-goto@nagasaki-u.ac.jp/研究室:環境科学部 2 階 261 室 /TEL:095-819-2760 /オフィスアワー:月曜日午後(13:30-17:00)を原則とするが、他の時間も在室のときは可			
担当教員(オムニバス科目等)			
授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標 授業のねらい: 専門の講義においても、数学アレルギーや微積分アレルギーから抜けきれない学生が多い中で、初年度から、微積分の初歩を学び、その概念を理解することにより、数学に親しませること。 授業方法: 一方方向の授業にならないように、講義のみならず、演習および具体的な例題を多く取り入れる。 授業到達目標: 微積分の概念を理解し、将来、高学年になって微積分を使用する際、困らない程度の計算能力を身につけさせる。			
授業内容(概要)/授業内容(毎週毎の授業内容を含む) 授業内容(概要) 微積分についての基礎的な学習。 第1回 微分法 第2回 初等関数の微分 第3回 高階導関数 第4回 演習 第5回 平均値の定理 第6回 テイラーの展開 第7回 偏微分法 第8回 演習 第9回 不定積分 第10回 定積分 第11回 演習 第12回 重積分 第13回 微分方程式 第14回 微積分の物理学への応用 第15回 授業の総括(テストを含む)			
キーワード	微分、積分		
教科書・教材・参考書	水本久夫著 微分積分学の基礎 培風館		
成績評価の方法・基準等	定期試験の成績(100%)をもとに評価するが、出席状況、受講態度等が悪い場合はその分を減点する。		
受講要件(履修条件)	なし		
本科目の位置づけ/学習・教育目標	将来、理工学関係の学習をするときでも、困らない程度の数学の基礎的な能力を身につけることを目指す。		
備考(準備学習等)	教科書で十分予習復習をすること。理由なく欠席遅刻をしないこと。居眠りをしないこと。		